



大和物語
全

思

特別
ル 3
3617
72



大和興りより引案内

東より依りまて二里寺

。大佛 東後寺 いろいろ

深草 中らの邊

依りまて長流と 三里寺

。東の方より河原。かろくろと

。西の方より北は坂公と。北の

河原と。東の方より北は坂公と。北の

むらひふその北は坂公と。北の

。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

屋と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

長流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

。北流と。かろくろ茶屋と。かろくろ茶

○ 東宮下ノ金の鑿拓サカサと云ふ
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり

○ こゝの山ありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり

○ 柳は美田の地ありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり

○ 柳は美田の地ありて西宮あり

○ 柳は美田の地ありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり

○ 柳は美田の地ありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり
 事ありきとありて西宮あり

○八世丹波守正盛公の御代に
後醍醐天皇の御代に○あつた御代
におくまをかりのやうにのちを
まかたがらふりぬ。○まはら
たう上を統た後醍醐天皇の御代
らにおひ下るるまゝの御代に
でうごまの御代に○まはら
○西州の御代に○まはら
七つつくをまゝに○まはら
世のころに○まはら
南太の御代に○まはら
むうごまの御代に○まはら
○まはら
三三の御代に○まはら
権現様 台徳院様の御代に○まはら

あつた御代に○まはら
まはらの御代に○まはら
世のころに○まはら
南太の御代に○まはら
むうごまの御代に○まはら
○まはら
三三の御代に○まはら
権現様 台徳院様の御代に○まはら

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり
そこのほけりかや中うけを
まじりてのらんかき

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

○ 法隆寺の縁ずらりのほけり

ありしを問ひてあらはれしにあらむかの
 こゝにまはるるを故に問ふは〇からでし
 九下の七もんをまきまのゆゑにんえ
 夕公始^{（あはれ）}まゐるに面^{（あはれ）}あはれしつゝの
 み終のあやうにけしつゝあつ終のり
 をせぬがまきけりあまのまのりみ
 ては二のふにらば^{（あはれ）}まゐるな今井と
 ころいひあつあつりれぬつゝとるまを
 りのあはれをせしゆゆの申後^{（あはれ）}あつ
 りのひこことあまれりやとねと
 けむまののまがしよあはれあはれし
 けあり所をのうふあまの
 押はれ^{（あはれ）}あまのまの元まのりゆ^{（あはれ）}
 老ふまはれはらうまのまのりゆ^{（あはれ）}
 其のゆのまのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}

明神の遣へる所をいふかゝるの
 天神とまはるる神の本流をまはるる
 ころまをふりし上は神のゆゑに
 雲をひらけあはれけりて作
 らせまをまのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}
 けあまのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}
 あまのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}
 ちのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}
 色あまのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}
 ざらまのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}
 ねまのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}
 石まのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}
 出まのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}
 三行まのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}
 東岸まのりゆ^{（あはれ）}まのりゆ^{（あはれ）}

おぼろげな御座方々を御座り
のやうな東氏のやうに

○この教書は、（？）の御座り

○りかゝる御座り、（？）の御座り

○くまは、（？）の御座り

○春日大社、（？）の御座り

○本社、（？）の御座り

○武蔵の御座り、（？）の御座り

○この御座り、（？）の御座り

○この御座り、（？）の御座り

○この御座り、（？）の御座り

○この御座り、（？）の御座り

○この御座り、（？）の御座り

○この御座り、（？）の御座り

○この御座り、（？）の御座り

○この御座り、（？）の御座り

- 西尾屋の所のり、東のみとらち
な坪りんねやろなり
- つらちのりせえ、大徳寺より水
東へ更物るるひびく
- 本寺よりやむ、天皇の御宇、神皇
元年、ふゆえ、うらり、そのち
まげのち、後名、神の御宇
達久の辰、ゆき、坊ち、やうん
大徳寺を、やうち、せ、い、じ、ま
ゆん、ち、ち、やうのち、井、大徳寺
南、向、ち、ま、の、大、徳、寺、大、徳、寺、
二月、堂、大、徳、寺、の、東、の、方、ひ、び、く、
西、の、方、ひ、び、く、ひ、び、く、
○ ことこの井、堂、より、西、の、方、ひ、び、く、
二月、堂、大、徳、寺、の、東、の、方、ひ、び、く、

- 久元庵、大徳寺より、西、の、方、ひ、び、く、
- くら、大、徳、寺、の、東、の、方、ひ、び、く、
- くら、大、徳、寺、の、東、の、方、ひ、び、く、
- さ、の、の、大、徳、寺、の、東、の、方、ひ、び、く、
極、ち、大、徳、寺、の、東、の、方、ひ、び、く、
- ち、の、大、徳、寺、の、東、の、方、ひ、び、く、
ち、の、大、徳、寺、の、東、の、方、ひ、び、く、
ち、の、大、徳、寺、の、東、の、方、ひ、び、く、
ち、の、大、徳、寺、の、東、の、方、ひ、び、く、
- ▲ 本、寺、より、東、の、方、ひ、び、く、
ち、の、大、徳、寺、の、東、の、方、ひ、び、く、

空法橋 人至平七代やうやく天皇の

